

Osprey Studio S ペDESTAL

OSPREY studio S
ペDESTAL



製品コード V4173-0001

JP

www.vinten.com
<https://videndum-vps.jp/>

Copyright © 2022

著作権所有について

原版：英語

あらゆる国や地域において本書の著作権を所有しており、また本書の無断複写・転載を禁じます。本書の内容のいかなる部分も Videndum Group Plc. の事前の同意または許可なしに、写真複写、写真、磁気またはその他これらに限定されない方法で検索システムへの保存、送信、複写、複製をすることはできません。

免責事項

本書に記載の情報は、本書の印刷時点では正確と判断されている情報です。Videndum Ltd は、本書に記載の情報および仕様を予告なく変更する権利を有します。変更内容は本書の改訂版に反映されます。

弊社は、本書を定期的に改訂して、製品仕様や特性の変更を反映するよう努めています。弊社製品の重要な機能に関する情報が本書に記載されていない場合は、ご一報ください。本書の最新版は、弊社ウェブサイトからご利用いただけます。

Videndum Production Solutions Ltd は、予告なく本製品のデザインおよび機能を変更する権利を有します。

商標

すべての製品の商標および登録商標は Videndum Group Plc. の所有物です。

その他すべての商標および登録商標は、それぞれ各社の所有物です。

発行者

Videndum Production Solutions Ltd

| | | | |
|-------------------------------------|----------|-------------------|-----------|
| 安全上の注意事項 | 2 | 外部の圧力源からの加圧 | 14 |
| 本書に使用されている警告マーク | 2 | カメラバランス調整 | 15 |
| 使用目的 | 2 | 取り扱い | 16 |
| 健康と安全 | 2 | 高さの調整 | 16 |
| 取り付けと設置 | 2 | ドラッグダイヤル | 16 |
| 水気、湿気、塵埃 | 3 | オンショットクランプ | 16 |
| 操作環境 | 3 | ブレーキ | 17 |
| 清掃 | 3 | ステアリング | 18 |
| 保守 | 3 | ケーブルクランプ | 19 |
| 重要データ | 3 | ケーブルガード | 19 |
| 用途 | 4 | 運搬と保管 | 20 |
| 本書について | 4 | 保守 | 22 |
| 製品概要 | 4 | 整備作業 | 22 |
| 各部の構成および名称 | 5 | 一般事項 | 22 |
| 梱包内容 | 5 | 清掃 | 22 |
| オプションのアクセサリ | 8 | 日常の点検 | 22 |
| 設置 | 9 | 調整 | 22 |
| 開梱 | 9 | 技術仕様 | 24 |
| ステアリング機構の点検 | 9 | 物理データ | 24 |
| 積載物の取り付け | 10 | 環境データ | 24 |
| ヘビーデューティクイックフィックスアダプター (付属品) | 10 | 通知事項 | 26 |
| ペDESTALへの加圧 | 12 | | |
| Vinten ハンドポンプを使用したペDESTALへの加圧 | 13 | | |

安全上の注意事項

本製品の安全な取り付けおよび取り扱いに関する重要な情報です。本製品を使用する前に、必ずお読みください。安全な取り扱いのために、下記の注意事項を遵守してください。安全な取り扱い方法を理解してから、本製品を使用してください。本書を保管し、必要ときに参照してください。

本書に使用されている警告マーク

本書には、安全上の注意事項が記載されています。人身傷害の危険や本製品の損傷を回避するために安全上の注意事項を遵守してください。



警告!

人身傷害のリスクまたは他人に危害を加えるリスクがある場合、三角形の警告記号が付されたコメントが表示されます。製品、関連機器、プロセスまたは周囲に損傷を与えるリスクがある場合、「注意」という用語が付されたコメントが表示されます。



ペDESTラルの警告マーク

三角形の警告マークや開いた本のマークが表示されている場合は、本ペDESTラルを使用したり何らかの調整または修理を試みたりする前に、必ず本操作ガイドを参照してください。



使用目的

Osprey Studio S ペDESTラルは、スタジオで使用できるよう設計されており、最大 80 kg (176 lb) の重量のバン & チルトヘッド、カメラ、および補助機器を支持し、バランスを保ちます。

本製品は、カメラのオペレーターが遮るもののない適度な水平面で使用することを想定しています。

健康と安全



警告! 人身傷害または他者への危害につながる危険があります。すべての人が十分に訓練され、正しい取り扱い手法および健康と安全に関する規制を順守する必要があります。使用する国または地域の関連機関の責任の下に、いかなる時にも安全な作業習慣を徹底してください。



警告! 85 kg (187 lb) を持ち上げるには補助が必要です。本製品を持ち上げる際には、必ず別の作業者の補助を受けるか、本製品を安全に持ち上げることのできる吊り上げ用ホイストを使用してください。

取り付けと設置



警告! 積載物を装着、調整、または取り外す前には、安全に作業できる高さまで昇降コラムを下げ、ホイールブレーキを掛ける必要があります。



警告! 仕様外の積載物がある、または積載物のバランスが悪い場合、本製品の安定性が失われる恐れがあります。本書に記載されている積載物のガイドラインおよび取り付け手順を厳守してください。



警告! 積載物を取り付ける際には、取り付けプラットフォームの間隔を十分に空けて、コラムを下げた時の衝突や挟み込みによる怪我のリスクを予防してください。



警告! 本製品は、カメラサポート装置の積載物のみを取り付けることを想定して設計されています。いかなる状況下でも、本製品を人員の輸送や支持には使用しないでください。



警告! 昇降コラムをいっぱいに展開した状態で本製品を移動させると、製品が不安定になる危険性があります。昇降コラムを安全な高さまで下げてから、本製品を移動するようにしてください。



警告! 本製品の操作は、平滑な平面上のみで行ってください。



警告! 本製品を置いたままその場を離れる際には、必ず固定してください。傾斜面で本製品を放置しないでください。



注意! 本製品の積載物が積載限度の 80 kg (176 lb) を超えないようにしてください。



注意! コラムに正しく予備荷重を掛けるには、最低積載量である 10 kg (22 lb) のみの状態で本製品を操作してください。

水気、湿気、塵埃



警告! 本製品を水気、湿気、塵埃から保護してください。

操作環境



警告! 本製品は使用温度範囲外で使用しないでください。本製品の動作限界については、製品の技術仕様書を参照してください。

清掃



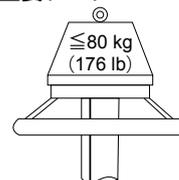
注意! 溶剤や油性洗剤、研磨剤やワイヤーブラシは使用しないでください。糸くずの出ない乾いた布で清掃してください。

保守



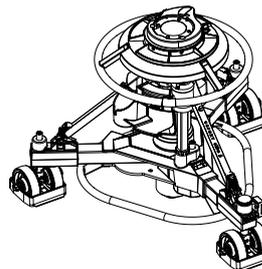
警告! 承認されていない部品およびアクセサリーの取り付け、または非承認の改造や修理は危険であり、製品の安全性に影響する可能性があります。製品保証条件も無効になる可能性があります。

重要データ



積載量

最大積載量: 80 kg (176 lb)



重量

ペダスタル本体: 89.4 kg (197.5 lb)



圧力

最大圧力: 15 bar (218 psi)

15 bar (218 psi)

安全上の注意事項

用途

Osprey Studio S ベDESTALは、スタジオや中継で使用できるよう設計されており、最大 80 kg (176 lb) の重量のパン & チルトヘッド、カメラ、および補助機器を支持し、バランスを保ちます。本製品は、カメラのオペレーターが遮るものがない適度な水平面で使用することを想定しています。



警告!

操作方法を理解してから、本製品を使用してください。

本製品を、上記に記載されている「用途」以外では使用しないでください。

本操作ガイドに詳細が記載されていないメンテナンスを行う場合は、弊社サービスセンターにお問い合わせください。

本書について

本操作ガイドは、Osprey Studio S ベDESTAL (製品コードV4173-0001) の出版物です。

本書には、操作や日常のメンテナンスに関する指示事項が記載されています。

製品概要

Osprey Studio は、最大 80kg (177lb) の大型積載物に対応するスタジオ用ベDESTALです。Osprey Elite のフルスタジオ用バージョンであり、大型の Vinten Vector ヘッドや、最新の幅広い携帯型またはフル装備型デジタルカメラおよびテレプロンプターを支えることができます。

また、完全にバランスの取れた状態で広範囲を捉えることが可能なため、座位から立位に至るまで、タレントのアイコンを「オンショット」で追跡できます。あらゆるエアソースに対応したバルブを備えているため、完全バランスを簡単に実現することができます。さらに、圧力計を内蔵しているためセットアップを簡単・確実に行えます。ブレーキと単ホイールおよび全ホイール両方のクラブステアリング切り替えボタンを備えているため、狭い空間でのカメラワークや撮影時の向きの変更にも対処できます。スタジオで使用できる一体型のケーブルガードが付いています。

主な特長

2段階のフルバランス範囲により総合的な「オンショット」昇降を実現できるため、ゲームショー、エンターテインメントショー、演劇や公演において座っているタレントから立っているタレントへと最適に画面を動かすことができます。

フルクラブ & ステア機能を中央の交換可能なステアリングリングで制御することにより、操作性と撮影時の操舵性を向上

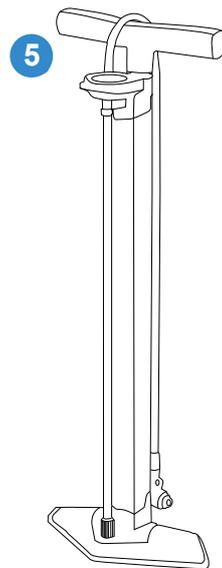
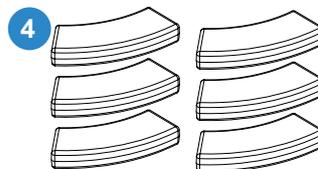
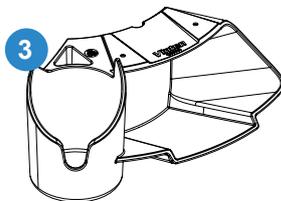
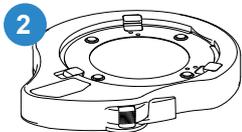
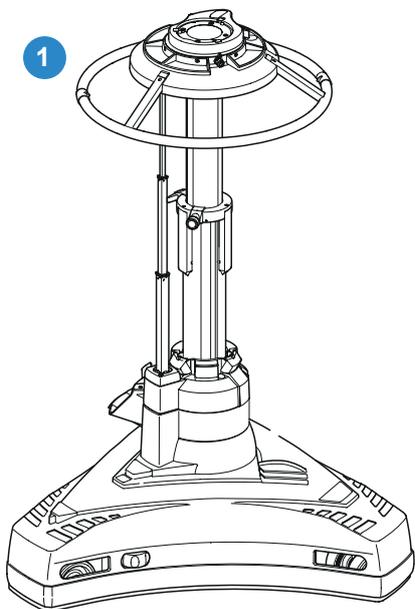
耐久性に優れたスカートタイプのベースにより最高の安定性を実現

ケーブルの損傷や撮影への妨害を防ぐ一体型のケーブルガード

単一の動作で掛かるパーキングブレーキ

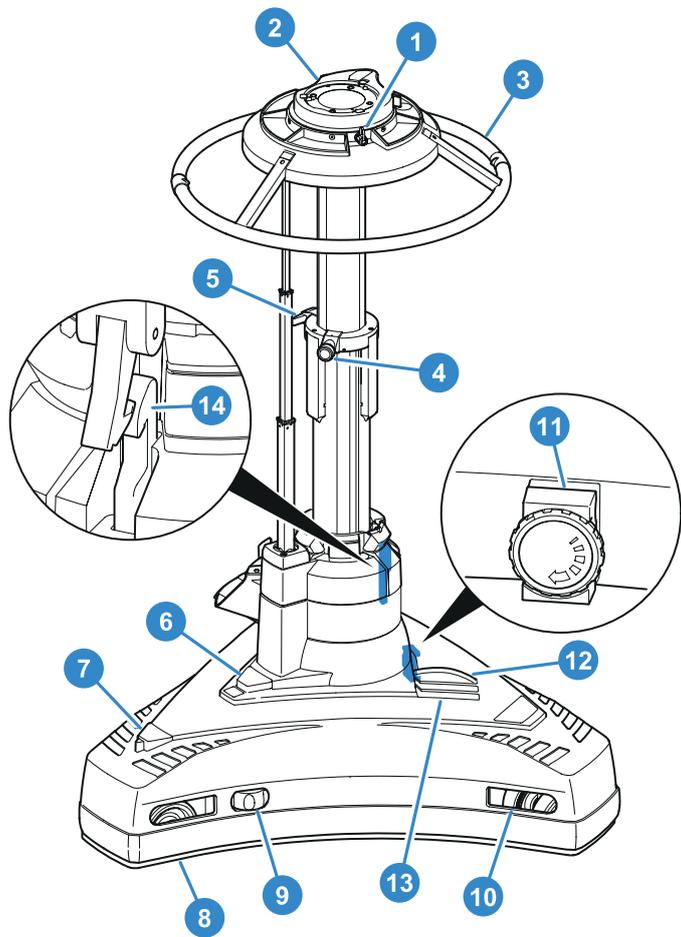
クイックフィックスアダプターとカメラマン用の保管エリアを装備

梱包内容

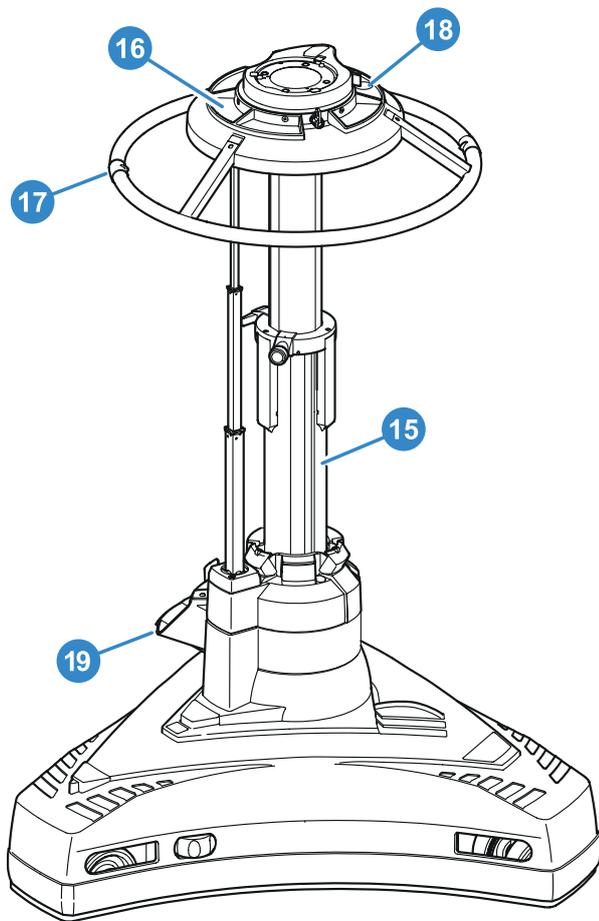


| 項目 | 説明 |
|----|----------------------------|
| 1 | Osprey Studio S V4173-0001 |
| 2 | クイックフィックスアダプター |
| 3 | アクセサリホルダー |
| 4 | 調整ウェイト x 6 |
| 5 | V4172-1900 マニュアルポンプ |

各部の構成および名称



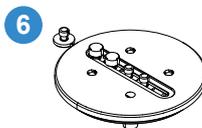
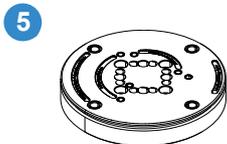
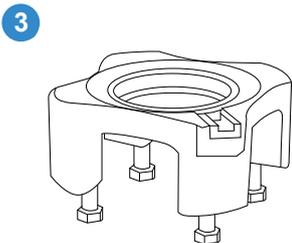
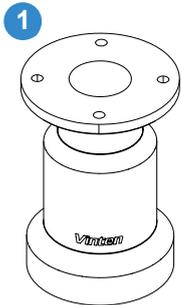
| 項目 | 説明 |
|----|---------------------|
| 1 | シュレーダーバルブおよびキャップ |
| 2 | 4 ボルト式取り付けプレート |
| 3 | ステアリングリング |
| 4 | ドラッグダイヤル |
| 5 | オンショットクランプ |
| 6 | クラブ & ステア機能切り替え用ペダル |
| 7 | ホイールブレーキペダル |
| 8 | ケーブルガード |
| 9 | ケーブルガードサムホイール |
| 10 | 持ち上げ用穴 |
| 11 | ケーブルクランプ |
| 12 | 調整ウェイト |
| 13 | 調整ウェイト収納 |
| 14 | セーフティキャッチ |



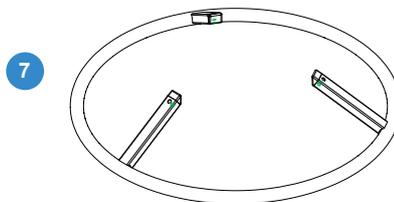
| 項目 | 説明 |
|----|---------------|
| 15 | 昇降コラム |
| 16 | 調整ウェイトトレイ |
| 17 | ステアリングインジケーター |
| 18 | 圧力計 |
| 19 | アクセサリホルダー |

各部の構成および名称

オプションのアクセサリ



| 項目 | 説明 | 製品コード |
|----|--------------------|------------|
| 1 | 200mm ハイハット | 3155-3B |
| 2 | 150mm ボールアダプター | 3330-17 |
| 3 | ミッチェルヘッドアダプター | 3055-3B |
| 4 | 100mm ボールアダプター | 33016 |
| 5 | ベースアダプター | 08349 |
| 6 | PTZ およびプロンプタープレート | V4166-1002 |
| 7 | ステアリングリング L : 25in | 3374-17 |



開梱

ペDESTルの梱包を解き、輸送用包装や保持用固定具をすべて取り外します。

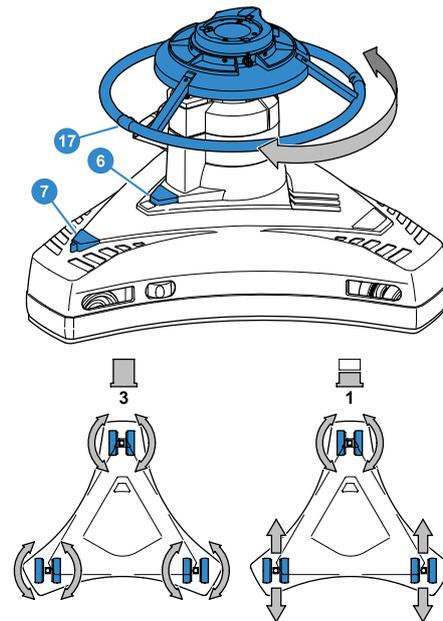


警告! Studio S ペDESTルの重量は 89.4 kg (197.5 lb) です。ペDESTルを持ち上げる作業は慎重に行ってください。ペDESTルを持ち上げる際はステアリングリングを持つのではなく、持ち上げ用穴を使用して持ち上げてください。セーフティキャッチは、積載物を取り付けるまで解除しないでください。

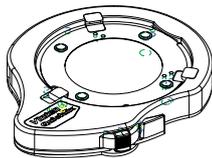
ステアリング機構の点検

ステアリングインジケーター (17) をブレーキペダル (7) にそろえます。クラブ & ステア機能切り替え用ペダル (6) を押して CRAB を選択し、ステアリングリングを回して、3 つのホイールがすべて連動し、いずれも同じ方を向いていることを確認します。

ステアリングインジケーター (17) をブレーキペダル (7) にそろえ、クラブ & ステア機能切り替え用ペダル (6) を押して STEER を選択します。ステアリングリングを回し、2 つのホイールが正面位置にロックされ、3 つ目の (ブレーキペダル下部の) ホイールはステアリングリングによって向きを変更できることを確認します。



積載物の取り付け



警告! カメラマウントと積載物は、昇降コラムを押し下げ、セーフティキャッチを掛けた状態で取り付けてください。

ペDESTアルは4ボルト式取り付けプレートを経標準搭載しているため、パン & チルトヘッド、クイックフィックスアダプター、ミツヘルアダプターを含む Vinten のさまざまなカメラマウントを使用できます。8 ページの「オプションのアクセサリ」を参照してください。

ヘビーデューティクイックフィックスアダプター (付属品)

ヘビーデューティクイックフィックスアダプターを使用すると、標準の Vinten 4 穴マウントに「クイックフィックスアダプター」ベース型のパン & チルトヘッドを装着できます。

設置

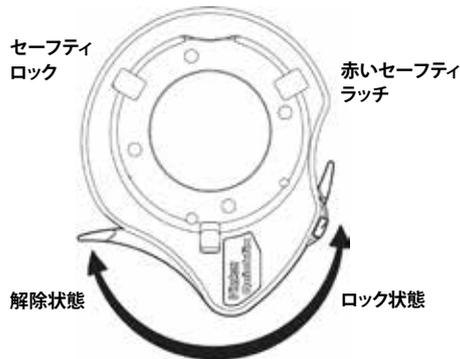
1. 4 穴マウントにアダプターを取り付けます。取り付け用ボルトはペDESTアルからは取り外しできず、ボルトヘッドには取り付けプレートの下側からアクセスします。カメラマウントを取り付けたら、適正なサイズのスパナを使用してボルトをしっかりと固定してください。この場合は、製品コード J551-001 の Vinten 製スパナを使用します。



警告! 安全のため、ネジは十分に締め付けつつ、アダプターの取り付け面からは突き出ないようにしてください。

ヘッドを取り付けるには

1. アダプターのロックを解除するには、赤いセーフティラッチを押し上げ、レバーを外方向へいっぱい左側まで引きます。
2. アダプターにヘッドを配置し、ヘッドが正しくへこみに収まり、セーフティロックが押し下げられていることを確認します。
3. レバーを内方向へいっぱい右側まで押して赤いセーフティラッチを動作させ、アダプターにヘッドをロックします。



ヘッドを取り外すには

1. アダプターのロックを解除するには、赤いセーフティラッチを押し上げ、レバーを外方向へいっぱい左側まで引きます。



警告! 本ユニットには張力の掛かったバネが含まれています。バックプレートを取り外すと、人身傷害の原因になることがあります。

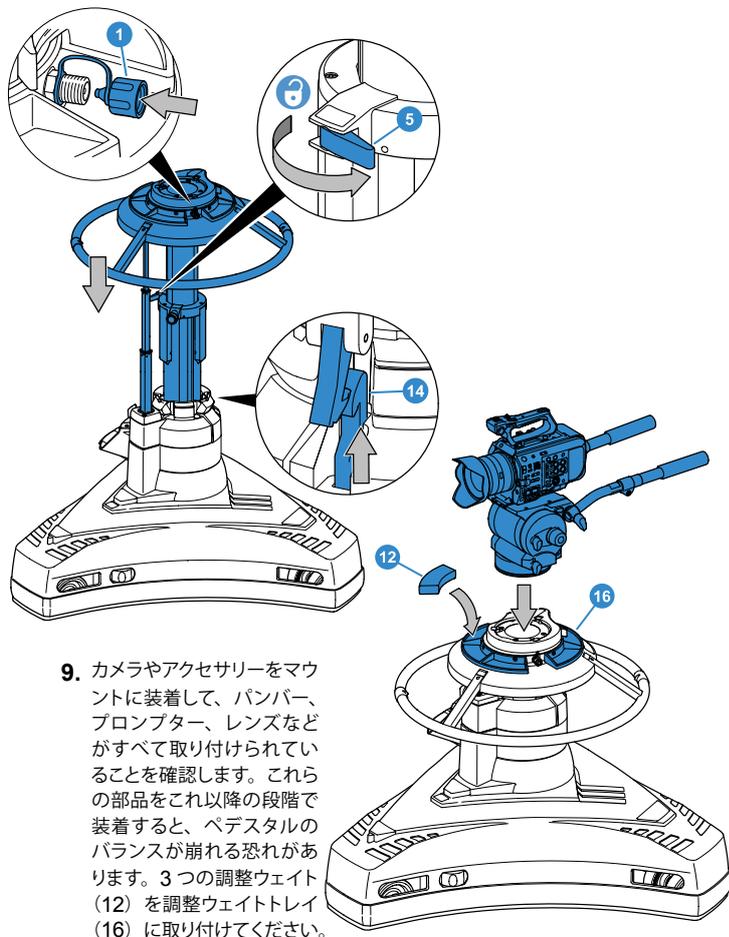
1. ベDESTALに加圧する前に、パン & チルトヘッドとカメラなどの積載物を取り付けます。Osprey studio S ベDESTALは4ボルト式取り付けプレートを標準搭載しているため、パン & チルトヘッド、クイックフィックスアダプター、ミツチェルアダプターを含むVintenのさまざまなカメラマウントを使用できます。
2. 取り付け用ボルトはベDESTALからは取り外しせず、ボルトヘッドには、コラムをいっばいに押し下げ、セーフティキャッチを掛けた状態で取り付けプレートの下側からアクセスします。ただし、コラムを伸展させると、パン & チルトヘッドを装着しやすくなります。



警告! 加圧したベDESTALは、セーフティキャッチを解除すると急激に上昇します。セーフティキャッチを解除するときは、ベDESTALの上に身を乗り出さないでください。セーフティキャッチが解除されている場合は、必ずステアリングリングをつかんで手の力でベDESTALを押さえてください。

パン & チルトヘッドおよび積載物を次の手順で取り付けます。

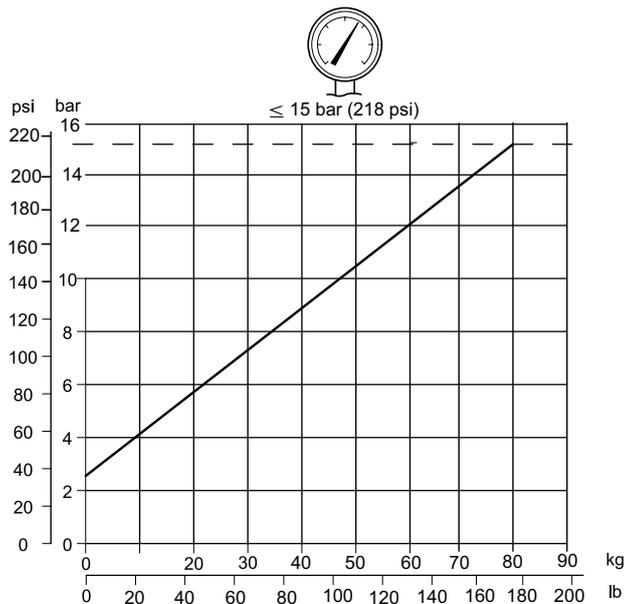
3. ベDESTALの圧力が3.5 bar (50 psi) を超えていないことを確認します。必要に応じて、シュレダーバルブキャップ (1) を使用して減圧させます。
4. 残っている圧力に逆らってステアリングリング (3) を押し下げ、セーフティキャッチ (14) を解除します。コラムを手で押さえて伸展させます。
5. オンショットクランプ (5) を掛けます。
6. パン & チルトヘッドを取り付けて、適正サイズのマイナスドライバーまたはスパナを使用してしっかりとボルトを締めます。この場合は、製品コード J551-001 のVinten 製スパナを使用します。
7. セーフティキャッチスライド (14) を ON にセットし、オンショットクランプ (5) を解除して、
8. セーフティキャッチが掛かるまで昇降コラムを手で押し下げます。



9. カメラやアクセサリをマウントに装着して、パンバー、プロンプター、レンズなどがすべて取り付けられていることを確認します。これらの部品をこれ以降の段階で装着すると、ベDESTALのバランスが崩れる恐れがあります。3つの調整ウェイト (12) を調整ウェイトトレイ (16) に取り付けてください。

ペDESTALへの加圧

- Osprey studio S ペDESTALには、外部の圧力源から加圧するか、Vinten ハンドポンプ（製品コード 3357-3）を使用して加圧します。調整ウェイトにより、優れたバランスを実現しています。
- ペDESTALに取り付ける積載物（積載物 = パン & チルトヘッド、カメラ、レンズ、およびすべての補助機器）の確認を行ってください。グラフを参照して横軸の積載量にマークを入れた後、積載量の数値からバランス線まで縦線を引きます。その交点から平行線を縦軸まで引き、必要な圧力を読み取ります。



警告! ペDESTALには、圧力計の針が赤色部分に入る圧力まで加圧しないでください。ペDESTALには、過圧対策として圧力リリーフバルブが取り付けられています。圧力リリーフバルブを調整しないでください。ポンプの使用前に積載物を取り外してください。



警告! 本ペDESTALへの加圧には、乾燥した清浄な空気または窒素のみを使用してください。減圧バルブは、ガスボンベからホース出口の接続部までの圧力ラインに取り付ける必要があります。減圧バルブは、ガスボンベの出口にネジ留めしてください。減圧バルブの出口側の最大圧力は、15 bar (218 psi) を超えないようにする必要があります。ペDESTALには、圧力計の針が赤色部分に入る圧力まで加圧しないでください。ペDESTALには、過圧対策として圧力リリーフバルブが取り付けられています。

圧力リリーフバルブを調整しないでください。



警告! 加圧したペDESTALは、セーフティキャッチを解除すると急激に上昇します。バランス調整用の積載物を設置せずにペDESTALを加圧する際は、セーフティキャッチを解除しないでください。セーフティキャッチが解除されている場合は、必ずステアリングリングをつかんで手の力でペDESTALを押さえてください。



警告! 積載物を取り付けられていない状態で放すと、コラムは急激に上昇します。セーフティキャッチを解除するときは、ペDESTALの上に身を乗り出さないでください。

Vinten ハンドポンプを使用したペDESTALへの加圧



警告! ペDESTALには、圧力計の針が赤色部分に入る圧力まで加圧しないでください。ペDESTALには、過圧対策として圧力リリーフバルブが取り付けられています。圧力リリーフバルブを調整しないでください。



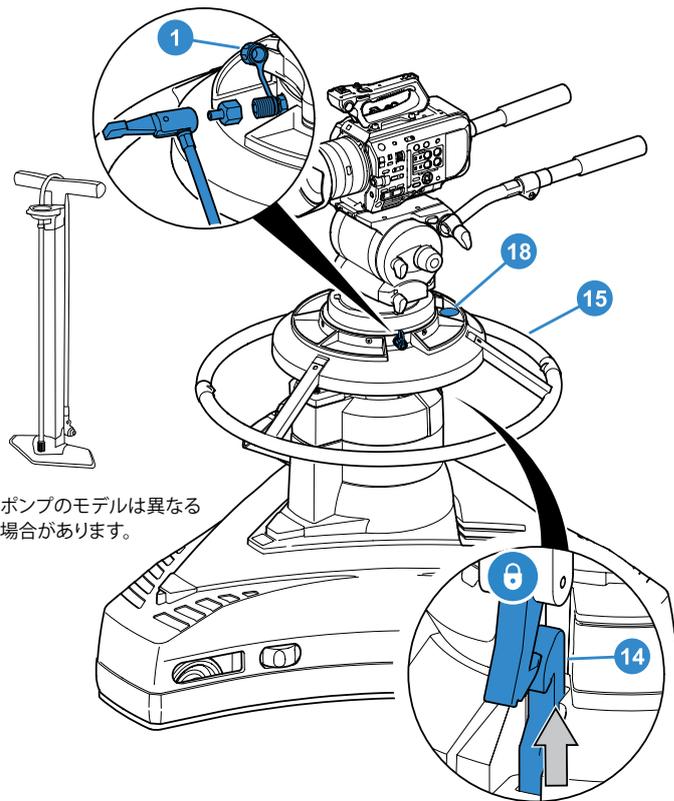
警告! 加圧したペDESTALは、セーフティキャッチを解除すると急激に上昇します。バランス調整用の積載物を設置せずにペDESTALを加圧する際は、セーフティキャッチを解除しないでください。セーフティキャッチが解除されている場合は、必ずステアリングリングをつかんで手の力でペDESTALを押さえてください。

Vinten ハンドポンプ* を使用してペDESTALに加圧するには、次の手順に従ってください。

積載物を装着して、バンパー、ブロンプター、レンズなどがすべて取り付けられていることを確認します。

1. セーフティキャッチスライド (14) を LOCK の位置にセットし、リング (15) を使用して、セーフティキャッチが掛かるまで昇降コラムを十分に押し下げます。
2. ポンプからホースのクリップを外します。圧力計がウィンドウ越しに見えるようになるまで、ステアリングリングを回します。
3. バルブアダプターをペDESTAL充填バルブ (1) に回して付けます。ポンプのノズルがアダプターにしっかりと取り付けられ、所定の位置にロックされていることを確認してください。
4. ポンプの前に立ち、土台の踏み板に両足を乗せます。

5. ハンドルを両手で握り、必要な圧力になるまで安定したフルストロークでペDESTALに加圧します。圧力計の針が赤色部分に入る圧力まで加圧しないでください (18)。
6. ペDESTAL充填バルブからポンプのホースとバルブアダプターを外します。



外部の圧力源からの加圧



警告! 本ペDESTALへの加圧には、乾燥した清浄な空気または窒素のみを使用してください。減圧バルブは、ガスボンベからホース出口の接続部までの圧力ラインに取り付ける必要があります。減圧バルブは、ガスボンベの出口にネジ留めしてください。減圧バルブの出口側の最大圧力は、15 bar (218 psi) を超えないようにする必要があります。

ペDESTALには、圧力計の針が赤色部分に入る圧力まで加圧しないでください。ペDESTALには、過圧対策として圧力リリーフバルブが取り付けられています。圧力リリーフバルブを調整しないでください。



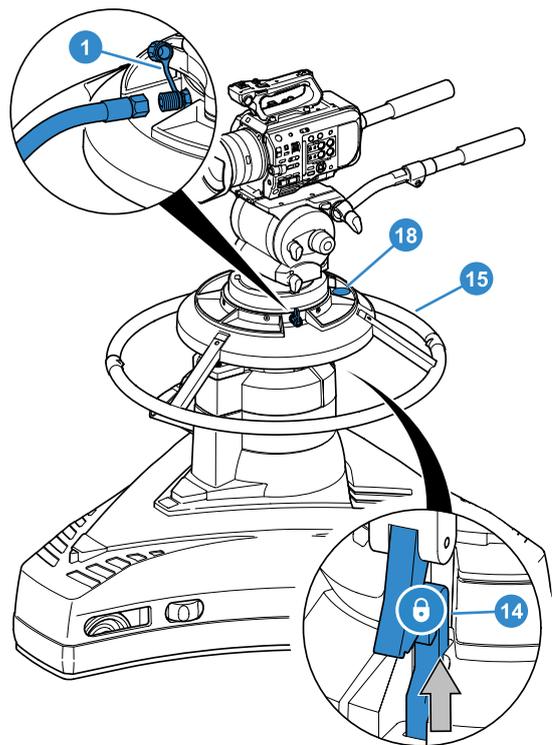
警告! 加圧したペDESTALは、セーフティキャッチを解除すると急激に上昇します。バランス調整用の積載物を設置せずにペDESTALを加圧する際は、セーフティキャッチを解除しないでください。セーフティキャッチが解除されている場合は、必ずステアリングリングをつかんで手でペDESTALを押さえてください。

外部の圧力源からペDESTALに加圧するには、次の手順に従ってください。

積載物を装着して、パンパー、プロンプター、レンズなどがすべて取り付けられていることを確認します。

1. セーフティキャッチスライド (14) を LOCK の位置 (I) にセットし、セーフティキャッチが掛かるまで昇降コラムを十分に押し下げます。
2. シュレーターバルブキャップ (1) を外し、圧力源からの充填ホースをつなぎます。
3. 圧力計がウィンドウ越しに見えるようになるまで、ステアリングリングを回します。

4. 圧力の供給を開始し、ペDESTALの圧力を必要な圧力までゆっくりと上げます。圧力計の針が赤色部分に入る圧力まで加圧しないでください (18)。
5. 充填ホースを外します。ただし、この段階ではシュレーターバルブキャップを付け直さないでください。



カメラバランス調整

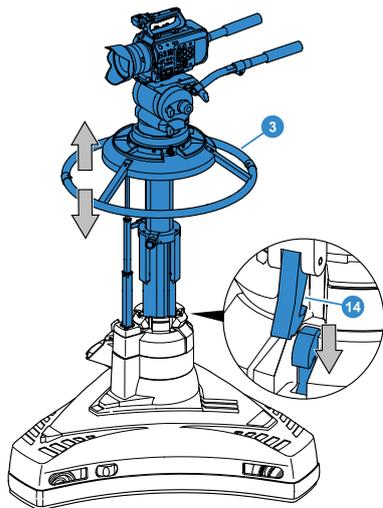
ペDESTアルへの加圧後は、次の手順でバン & チルトヘッドと積載物のバランスを正確に調整します。

残っている圧力に逆らってステアリングリング (3) を押し下げ、セーフティキャッチ (14) を解除します。コラムを手で押さえて伸展させます。

昇降コラムを可動域全体にわたって事前に 2 回以上動かしてから、コラムを中間の高さに設置します。

コラムが降下する場合は、調整ウェイト (12) を外すか、圧力を高めます。

コラムが上昇する場合は、シュレーダーバルブキャップ (25) を使用して、0.15 ~ 0.20bar (2 ~ 3psi) 刻みで圧力を低下させます。



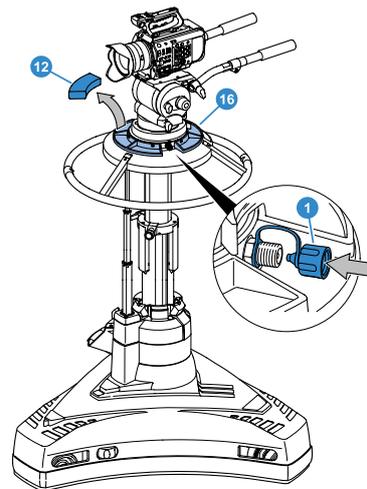
警告! ペDESTアルの圧力を 3.5 bar (50 psi) 未満に下げないでください。圧力を保つことで、上昇機構の張力を確実に維持できます。



警告! シュレーダーバルブキャップ (1) は主要な圧力シールになっています。キャップは必ず元に戻し、指できつく締めてください。

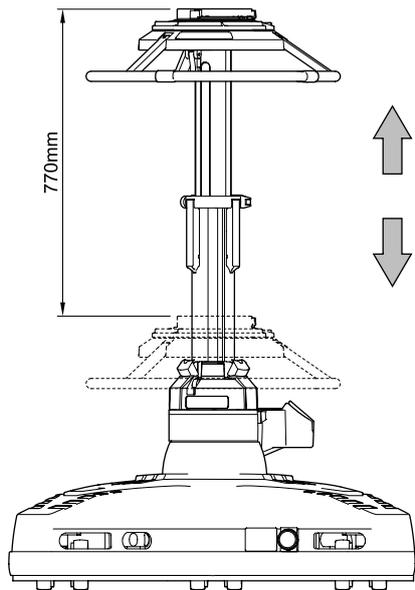
ペDESTアルを適切に加圧すると積載物のバランスが取れ、最小限の力で昇降コラムのオンショットストロークのあらゆる位置に動かせるようになります。また、ステアリングリングから手を放してもその位置を保つことができます。

調整ウェイト (12) の追加や取り外しにより、バランス調整と温度補正を行います。



高さの調整

コラム上段のオンショットストロークは770 mm (30 in.) です。ステアリングリング (3) を上下させることにより、この範囲でバランスを完全に保ったまま積載物を動かすことができます。ドラッグ時の動きは調整できます (21)。また、一定の高さでの操作が必要な場合は、オンショットクランプ (22) を使用して昇降コラムを適切な位置に保ちます。

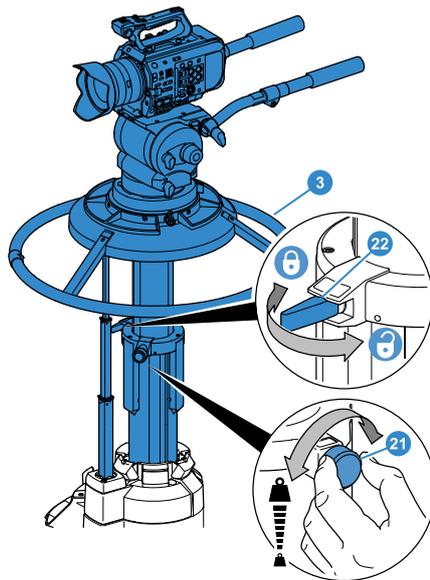


ドラッグダイヤル

ドラッグ時のコラムの動きは調整できます。これはアウターチューブ上部のドラッグダイヤル (21) を使用することにより、カメラマンの好みに合わせて設定できます。ドラッグの設定を増やす場合はダイヤルを時計回りに回し、減らす場合には反時計回りに回します。

オンショットクランプ

一定の高さでの操作が必要な場合は、オンショットクランプ (22) を使用して昇降コラムを適切な位置に保ちます。クランプを掛けるには、クランプレバーを左へいっぱいに動かします。クランプを解除するには、右へいっぱいに動かします。



ブレーキ

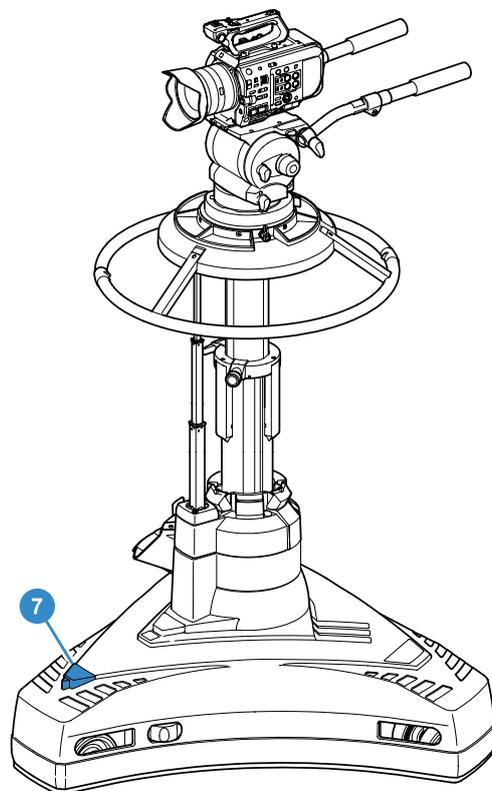
ドリーは、ホイールの1つにパーキングブレーキを備えています。このブレーキは、ペDESTALの減速用ではありません。



警告! ペDESTALを置いたままその場を離れる際には、必ずブレーキを掛けてください。

ペDESTALが動いている間は、ブレーキを掛けしないでください。

ブレーキをかけるには、ベース部のペダル (7) を踏みます。1回踏むとブレーキが掛かり、再び踏むと解除されます。

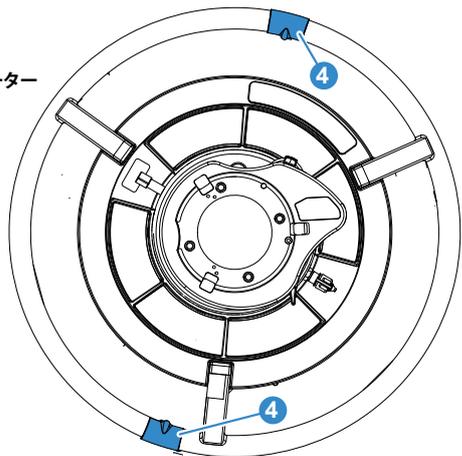


取り扱い

ステアリング

ペダスタルの方向は、コラム上部に取り付けられたステアリングリングを回して制御します。ステアリングシステムは、ドリーのホイールとステアリングリングが同じように回転するよう作られています。このため、ペダスタルがクラブに設定されている状態でステアリングリングを 90° 回すと、ホイールの向きも 90° 変化します。ステアリングリングには、基準点になる 2 つの可動インジケータ (4) が付いています。これらはステアリングリングの正面位置の目印として使用できます。

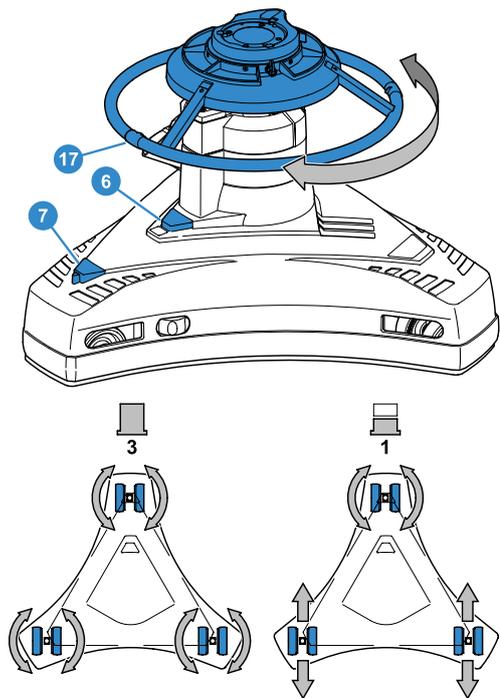
可動インジケータ



ペダスタルは足踏み式の切り替え装置が付いたクラブ & ステア機構を備えており、ホイールの 1 つをステア動作として残りの 2 つを固定するステア設定、または 3 つすべてのホイールを同時に回転させるクラブ設定とすることができます。

ペダル (6) を踏むと、クラブ (3 輪) とステア (1 輪) の間で装置が作動して切り替えが行われます。

このペダルはホイールがどの位置にあっても踏めますが、ホイールがすべて前方を向くまで切り替えは行われません。そのため、切り替え装置が作動するまでにステアリングリングを最大で 180° 回さなければならない場合があります。この機構により、クラブからステアに変更した際に必ず固定されたホイールが正面位置にロックされます。



ケーブルクランプ

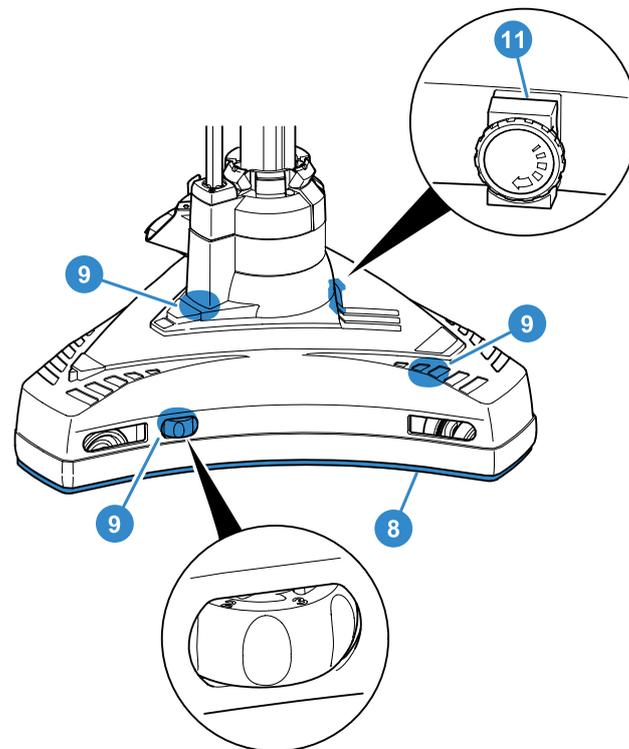
ケーブルクランプ（11）はベースに付属しています。

ケーブルガード

連続したケーブルガード（8）は、3つのケーブルガードサムホイール（9）を使用して高さを調整できます。これらの上面には数が印字されています。

ケーブルガードを必要な高さにセットするには、ケーブルガードサムホイールを回転させ、各サムホイールが同じ数にセットされるようにします。

ペDESTルが障害物に乗り上げた場合の損傷を防止するため、ケーブルガードにはバネ仕掛けの構造が採用されています。





警告! 特に IATA 規則の UN 1956 - Compressed Gas Shipping (圧縮ガスの輸送) に基づく危険貨物に分類されない加圧したペDESTALについては、運搬や保管の際に自治体、国家または国際的な規制が適用される場合があります。圧力は、2 bar (28 psi) 以下に下げる必要があります。詳しい情報および指示については、Service Bulletin V4002- 4990 を参照してください。



警告! コラムを持ち上げる前には、必ずペDESTALの圧力を 3.5 bar (50 psi) 以上に上げるようにしてください。圧力を保つことで、上昇機構の張力を確実に維持できます

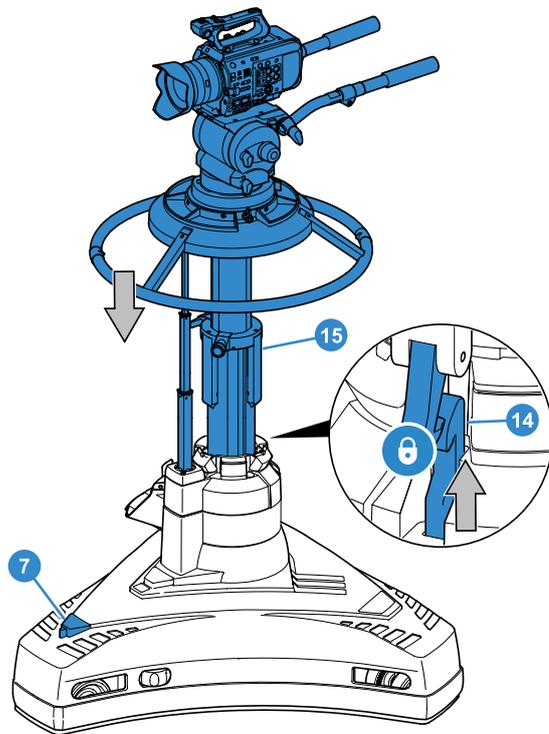
警告! ペDESTALの圧力を 3.5 bar (50 psi) 未満に下げないでください。



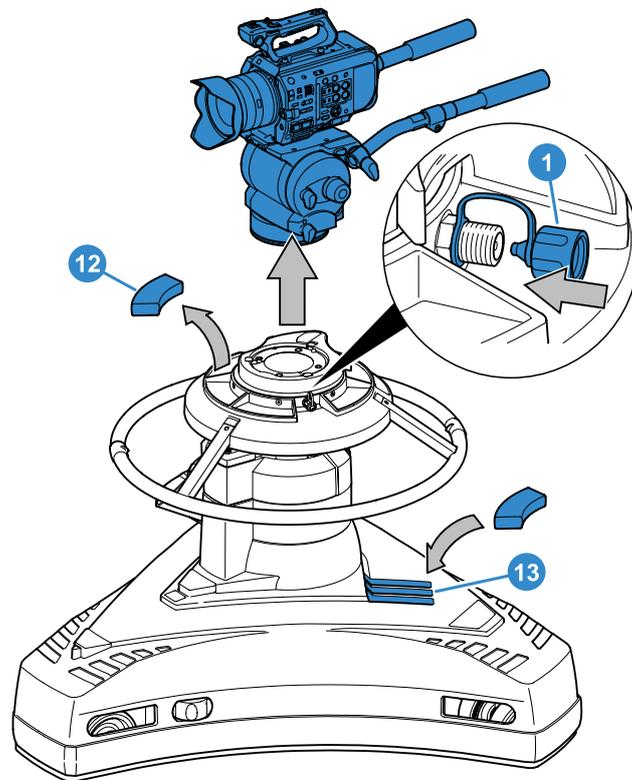
ただし、圧力を 3.5 bar (50 psi) まで下げると、カメラやマウントを取り外しやすくなります。

運搬と保管

1. ブレーキを掛けます (7)。
2. セーフティキャッチスライド (14) を一番上まで押し上げて、しっかりと露出させ、LOCK の位置にセットし、セーフティキャッチが掛かるまで両方のコラム (15) を十分に押し下げます。
4. カメラやアクセサリーを取り外します。
5. シュレーダーバルブキャップ (1) を使用して、ペDESTALの圧力を 3.5 bar (50 psi) まで低下させます。



6. セーフティキャッチ (14) を解除し、コラムを手で押さえて上昇させます。
7. オンショットクランプ (5) を掛けます。
8. パン & チルトヘッドをクイックフィックスアダプターから取り外します。10 ページの「ヘッドを取り外すには」を参照してください。
9. 塵埃が昇降コンポーネントに集積する可能性を回避するため、オンショットクランプ (5) を解除し、コラムを最低の高さにセットして、セーフティキャッチ (14) を掛けます。
10. 調整ウェイトトレイ (13) に調整ウェイト (12) に戻します。



整備作業

一般事項

Osprey ベデスタルは高度なエンジニアリング基準に適合するよう製造されており、定期清掃を除けば機能性を維持するためのメンテナンスはほんのわずかです。以下の点に注意すると、有益な使用期間を長く確保しつつ、修理の必要性を最小限に抑えることができます。

清掃

通常のスタジオでの使用では、糸くずの出ない布を使用した定期的な拭き掃除が唯一必要な清掃です。保管時や不使用期間中に蓄積した汚塵は、やや固めのブラシで取り除いてください。コラム上段の平らな部分には特に注意を払うようにしてください。



注意! コラムの露出部にはオイルやグリースを使用しないでください。こうした行為は不必要で、瑕疵につながる汚塵を付着させます。

特に悪条件における屋外での使用には特別な注意が必要です。塩水がかかった場合、できるだけ早くきれいな水で洗い落としてください。コラムに水が入り込まないようにしてください。

砂や埃は汚塵の原因となりますので、やや固めのブラシまたは掃除機で取り除いてください。



メモ: 中性洗剤のみを使用してください。表面保護を傷付けるため、溶剤や油性洗剤、研磨剤やワイヤーブラシを使用して蓄積した汚塵を取り除かないでください。

日常の点検

Osprey ベデスタルには、接続や取り扱い全般の定期点検のほかに、最低限必要な日常のメンテナンスがあります。

通常のご使用の際には、以下の点に留意してください。

- ゴム製の固定用ストラップに経年劣化や亀裂がないか確認し、必要に応じて交換します。
- クランプの効力を確認します。
- 昇降コラムに半径方向または横方向の遊びがないか確認します。

調整

一定の使用期間後に必要な調整は以下の通りです。

- ドリークランプの摩耗への対処
- 昇降コラムにある半径方向や横方向の遊びの排除

エレベーションチューブまたは上段の半径方向および横方向にできた遊びの排除

エレベーションチューブや上段に半径方向または横方向の過剰な遊びがはっきり見える場合は、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

日常のメンテナンス

コラムの上昇機構にある3本の鋼線ロープは、3年間隔で交換してください。

この手順は、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

物理データ



最小高さ

660 mm (26 in.)



最大高さ

1430 mm (56 in.)



最大荷重

80 kg (176 lb)



重量

89.4 kg (197.5 lb)



ステアリングリングの直径

635 mm (25 in.)



オンショットストローク

770 mm (30.3 in.)



最低地上高

20 mm (0.8 in.)



トランジット幅

800 mm (31.5 in.)



トラッキング幅

1080 mm (42 in.)



段数

2



最大動作圧力

≤15 (218 psi)



リリーフバルブ圧力

16.5 bar (240 psi)

環境データ



使用温度範囲

+5°C ~ +40°C (41°F ~ +104°F)



保管温度範囲

-20°C ~ +60°C (-4°F ~ +140°F)

技術仕様は通知なく変更されることがあります。

EU 適合宣言

正式代表者である Videndum Production Solutions GmbH のサポートを受ける Videndum Production Solutions Ltd. は、その単独の責任において、本書に詳述する製品が次の EU 指令のすべての関連規定に準拠していることを宣言します。

Machinery Directive (機械指令) 2006/42/EC

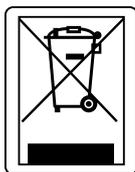
適合宣言の写しはご要望に応じてお渡しすることが可能です。

UK 適合宣言

Videndum Production Solutions Ltd. はその単独の責任において、本書に詳述する製品が次の英国法令のすべての関連規定に準拠していることを宣言します。

The Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008

適合宣言の写しはご要望に応じてお渡しすることが可能です。



環境への配慮

European Union Waste of Electrical and Electronic Equipment (WEEE) Directive (WEEE 指令、2002/96/EC)

本製品またはその梱包物に記載されたこのマークは、本製品を一般的な家庭ごみと共に廃棄してはならないことを示します。一部の国々または EC（ヨーロッパ共同体）地域では、分別収集システムを設立して、電気および電子廃棄製品のリサイクル処理を行っています。本製品の正しい廃棄を確実にを行うことにより、環境および人の健康に対する潜在的な悪影響の防止に役立ちます。原料のリサイクルにより、天然資源を保全することができます。

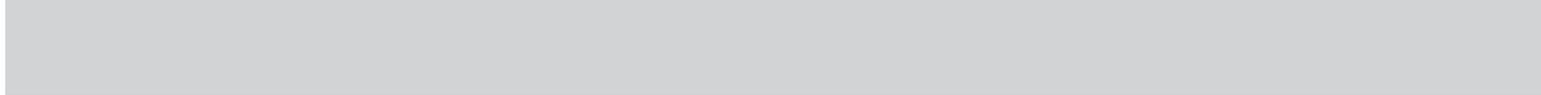
本製品およびその梱包物の安全な廃棄方法については、当社のウェブサイトをご参照してください。

EU 以外の国々

地元の自治体の規制に従い、電気および電子機器のリサイクルに対応する集積所で本製品を廃棄してください。

汚染物質に関する宣言

本製品は、Pollution Degree（汚染度）2 の環境における取り扱いを目的として設計されています。



Vinten



ヴィデナムプロダクションソリューションズ株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-38

芝公園三丁目ビル 1 階

TEL : 03-5777-8040 FAX : 03-5777-8041

大阪オフィス

〒531-0072 大阪市北区豊崎 5-2-13

TEL : 06-6359-2440 FAX : 06-6359-2441

<https://videndum-vps.jp/>

www.videndum.com